

かがやき

vol. 31

平成26年度

1号

「かかりつけ医」を持ちましょう

■ 国民皆保険制度の安定と維持していくための対策

17年ぶりに消費税が8%に引き上げられました。国家予算歳出で最も大きい部分を占めているのが年金や医療費などの社会保障費で、30兆円余りの公的資金が投入されています。地方税を合わせると40兆円、年々増加の一途をたどっています。このため今回の消費税増税分はこの社会保障費に充当されることになっています。

ところでわが国は、予算の約半分を公債等で賄って来ましたので“国の借金”は積みもって一千兆円に上っています。数年前に財政危機に陥ったギリシャの借金が38兆円ですから、いかに膨大な数字かがわかります。ただギリシャと違って身内からの借金なので今のところ破綻はしないと説明されています。本当でしょうか。

現にOECD（経済協力開発機構）は、日本が財政破綻した場合世界に与える影響が計り知れないことから、医療費抑制のためのジェネリック医薬品普及を勧告しています。そこで厚労省は後発医薬品の数量シェアを60%以上にするという目標を掲げています。

わが国はこれまで国民皆保険制度によって世界最高レベルの平均寿命と保険医療水準を実現してきました。結果、4人に一人が65歳以上という超高齢化社会となり医療費は膨らむ一方です。WHO（世界保健機関）から世界最高の評価を受けたこの制度も今や危機的状況にあります。この先も安定してこれを維持して行くためには何らかの対策が必須です。

一つは国民の負担を増やすこと、それが消費税増税ですが、それだけでは到底足りませんのでもう一つの対策、経費削減も必要です。かといって医療の質を落とすわけには行きませんので、効率化により医療資源を有効利用することで医療費の抑制を図ること、すなわち医療機能の分化、役割分担による医療提供体制の構築が不可欠です。

■ 日常的な診療や健康相談ができる「かかりつけ医」

当院は平成23年から地域の医療機関と連携・協力して、地域医療の充実と効率的な医療提供体制を目指す地域医療支援病院として承認を受けています。これまで3次救急医療機関、地域がん診療連携拠点病院、現在は休止中ですが地域周産期母子医療センターなど専門医療や高度医療、救急医療を提供してまいりました。

少しでも多くの患者さんにこれらの医療を活用していただくためには、日常的な診療や健康相談ができ、病状に応じて当院に紹介していただく医師として「かかりつけ医」を持つことをお勧めいたします。当院ではすでに一部の診療科で紹介予約制を採用しておりますが、他の診療科においても順次導入を進めてゆく予定です。当院を受診される際はかかりつけ医からの紹介状を持参してくださるようお願いいたします。ただし急を要する場合はこの限りではありません。今まで通り対応させていただきます。

また当院での治療が終了し病状が安定した場合は、かかりつけ医に戻っていただく逆紹介の推進も行っております。合わせてご理解・ご協力をお願い申し上げます。



副院長
安藤 昭彦

部長昇任のごあいさつ



看護部長
渡辺 まゆみ

「看護の力で選ばれる病院」
を目指して

2014年4月より看護部長を拝命しました渡辺です。手術室師長を8年間務め、昨年度は看護副部長を兼任しておりました。

現在、看護部の職員数は750名を超え、病院の中で最も多くを占めております。看護部長として、その一人一人のスタッフが5年後、10年後を明るく描ける、希望のある病院を目指していきたいと考えております。当院は2年後に新病院への新築移転が決定しており、今以上に地域の皆様の期待に応えられる機能を備えていくことになります。それらの役割が担える人材を育て、増やしていくことが目下の課題であると考えます。「組織が人を育て、人が組織を育てる」という職場風土を醸成し、学び刺激し合える環境を作って参りたいと思っております。さまざまな領域に特化した専門・認定看護師をはじめとして、看護職も医療の質向上に貢献できていると自負いたしております。これからは院内だけでなく、院外においても様々な職種の皆様と連携し、更に役割を果たしていけるよう努めていく所存です。

2025年問題に向け、医療は病院完結型から地域完結型へと益々加速を付けていきます。看護の力がより一層試される時代になってきていると感じます。看護部の方針である、「ひとを大切に」「安全な看護を提供する」「共に育つ職場環境をつくる」は、看護の最も基本の部分大切に丁寧に取り組んでいけるようにと立てたものです。看護の専門性をより高め、看護の魅力で患者さまがさいたま赤十字病院を選んでいただけるようになるよう、看護職員一同と共に誠心誠意努力して参ります。

今後も皆様の温かいご指導とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

部長昇任のごあいさつ



第二整形外科部長
東 成一

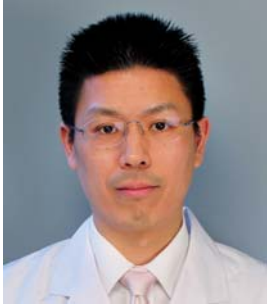
各専門医を擁し、整形外科診療の中でも需要の多い分野をおおむねカバーしています

平成 26 年 4 月より整形外科部長を拝命いたしました。平成 5 年医学部卒業後、平成 10 年に 1 年間当院で勤務させていただいたことがあり、3 年前の平成 23 年 4 月より再び勤務させていただいております。

当院整形外科は東京医科歯科大と東大の 2 医局が連携し、というより一体となって診療を行っており、現在 14 ～ 15 名の常勤医が勤務しています。医療の進歩に伴い、整形外科も専門分化が進み、各分野の "specialist" でないと高いレベルの治療は難しくなっていますが、当科では股関節外科、膝関節外科、肩～肘～手、指まで上肢全般の外科、脊椎外科、の各専門医を擁し、整形外科診療の中でも需要の多い分野をおおむねカバーしています。3 次救急などの多発外傷患者でも各分野の総力を結集して治療に当たることができ、当院整形外科の強みとなっています。科内の風通しはとてもよく、各分野の連携はスムーズで、また専門外領域の診療も取りこぼしなく最善の対応ができるよう努めております。

私自身は脊椎を専門としておりますが、前任医師達の地道な努力や院内各方面のご理解ご協力により、手術件数はここ数年急速に増加し平成 25 年度は年間 280 件にのびました。しかしながら当院がカバーすべき医療圏から東京等に治療に出ている患者さんも未だ少なくないと思われます。そういう患者さんたちにも当院を選んでいただけるよう、今後とも日々研鑽をつみ、真摯に診療に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

部長就任のごあいさつ



外科部長代理
加藤 敬二

胃癌・大腸癌を中心に、外科疾患に対する腹腔鏡手術を行います

はじめまして。2014年4月に外科に赴任した加藤です。3月まで在籍した東京医科歯科大学では胃癌の腹腔鏡手術を主に行っておりました。当院でも胃癌・大腸癌を中心に、外科疾患に対する腹腔鏡手術を行います。

腹腔鏡手術では、おなかをガスで膨らませて、小さな傷から内視鏡（カメラ）や手術器具を挿入し、手術を行います。従来の開腹手術と比較して技術的には難しく、手術時間も長くなりますが、カメラの拡大効果により細かい血管などもよく見えるので、出血が少ないといった利点があります。そして何より傷が小さいため、患者さんの感じる痛みも少なく、腸の運動の回復も早く、以前よりも早い社会復帰が可能となります。

ここ数年の医療機器の進歩は目覚ましく、腹腔鏡手術はより安全に、開腹手術と同等の手術が行えるようになってきました。当院でもフル・ハイビジョンの内視鏡や3Dの内視鏡といった最新の機器を導入し、最先端の医療を提供してまいります。

また近年の高齢化に伴い、ほかの疾患をお持ちの患者さんに対する治療の機会が多くなりました。総合病院である当院の強みを生かし、各科の先生方に協力していただきながら、診療に当たってまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



呼吸困難感を抱えて生活している患者さんを支援する

日本看護協会は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的に認定看護師制度を発足させました。その中で、慢性心不全看護認定看護師は、2010年に21番目に発足された比較的新しい分野であり、2014年4月現在、全国に132名、埼玉県には6名が認定され、登録されています。

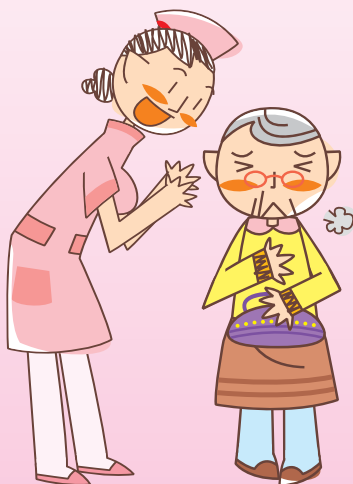
日本人の死因の第2位は心疾患であり、高齢社会に突入したことから、心疾患患者の増大が予測されるのと同様に、心疾患から心不全をきたすことから、心不全の患者も増大されることが予測されています。



慢性心不全看護
認定看護師
大久保 早苗

慢性心不全看護認定看護師の役割

- ①心不全を増悪させる原因が何かを考え、患者さん自身が病状の変化に速やかに気づき、対処できるように相談・指導していくこと
- ②心疾患はもちろんのこと、心疾患の原因でもある生活習慣病と上手に付き合いながら、その人らしく生活していく支援を行うこと
- ③患者さんや家族の意思や自己決定を尊重した看護を実践していくこと



現在、私は循環器科・心臓血管外科病棟に勤務しており、心疾患を突然発症した患者さんや元々の心疾患が悪化し、心不全を起こした患者さんの看護にあたっています。その中で、慢性心不全看護認定看護師の役割を基に、患者さんが心疾患を抱えながら、その人らしく日常生活を送れるように退院調整や生活指導などを病棟中心に活動しています。しかし、現状として社会復帰や自宅へ戻った後の患者さんの支援については、行えていない状況にあります。このため、今後の抱負は、自宅へ退院し、療養生活を送っている患者さんや社会復帰を果たした患者さんの生活に対する支援に力を入れて行きたいと考えています。そのためには、現在患者さんの退院によって終了している看護を外来まで継続していくことが出来る仕組みにつて考え、より良い看護が提供出来るように実践していきたいと思います。

健診部 コラム



健診センター

①当院健診センターの紹介とモットー

当院に健診センターがあることを、皆さんご存知でしょうか。本館3階の眼科外来の奥に「ひっそりと」あります。モットーは「安心とクオリティ」です。質の高い健診、「お・も・て・な・し」に心がけています。当院は総合病院ですので、何か病気の疑いがあれば、専門科による精密検査、診療ができます。建物の古さから、アメニティで劣る部分もありますが、ご容赦ください。もうすぐ新病院です。

当センターのスタッフは、医師：生井、鶴飼（非常勤）、保健師：石井、田村、事務：角田、大須賀、町田、富永、野口、小島の10名です。当センターは、当院スタッフ（各専門分野の医師、検査技師、放射線技師など）の協力のもと、チームワーク良く運営されています。健診は、病院の総合的な実力の反映とも言えます。

受診者のニーズに応えるべく、脳ドック、乳がん、婦人科健診、各種がんマーカー、上部内視鏡検査、結果説明（人間ドック）など、対応しています。昨年の実績は、通院2日人間ドック176名、日帰り人間ドック1,668名、生活習慣病予防健診2,130名、脳ドック107名でした。

②健診（人間ドック）の目的

当センターでは、がんの早期発見および生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心臓病、肝障害など）のチェックを二大目標としています。

一般的にがんは症状が出たときは進行がんの可能性が高いです。画像診断や血液検査などで、無症状の時期に発見されれば、早期がんであることが多く、助かる確率が高くなります。

生活習慣病に関しても、早期発見が重要です。私の専門は糖尿病ですが、糖尿病は、初期は無症状のことが多いため、検査しないと発見が遅れます。眼や腎臓の合併症、動脈硬化による心筋梗塞や脳梗塞など、大変な症状が出てから医療機関を受診する患者さんがまだまだ多いです。早期発見し、治療できれば、合併症は防げる可能性が高いです。

健診部 部長 生井 一之

1年に1回、全身のオーバーホールをしてみませんか。

さいたま赤十字病院 健診センター

予約専用直通電話 048-852-1110（午前10時～午後5時）



新病院の合同起工式について

さいたま赤十字病院 企画課

去る平成 26 年 2 月 16 日(日) 13 時 30 分から、隣接が予定されている埼玉県立小児医療センターとともに、さいたま新都心の建設予定地において合同起工式を開催しました。

前日には観測史上に残る大雪が降り、当日は強風が吹き荒れる中、上田清司日本赤十字社埼玉県支部長・埼玉県知事、清水勇人さいたま市長をはじめとする、180 名を超える多くの御来賓の皆様、並びに関係の皆様にご出席いただきました。

新病院では埼玉県立小児医療センターと密接に連携し、子どもから大人まで高度な医療を提供する安心安全の拠点となるよう、平成 28 年のオープンに向けて整備を進めてまいります。

埼玉県立小児医療センターとの連携による主な医療機能は次の 2 点です。

- (1) 2 病院が連携し、総合周産期母子医療センターとして、妊娠中、出産後のあらゆるリスクに対応し、妊産婦、新生児への適切な医療を提供します。また、他県へ頼らず、県内で安心して出産、成育できる環境を整備します。
- (2) 高度救命救急センター・小児救命救急センターとしての機能を整備し、病状や年齢に関わらず重篤な救急患者に対して高度な救命救急医療を提供します。

建設工事期間は平成 26 年 2 月から平成 28 年 3 月を予定しております。工事に伴い騒音や工事車両の往来など、近隣の皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。



○合同起工式の概要

日時：平成 26 年 2 月 16 日(日) 13 時 30 分～14 時 30 分

場所：さいたま赤十字病院・埼玉県立小児医療センター

建設地(さいたま新都心第 8-1A 街区)

主な出席者：上田清司日本赤十字社埼玉県支部長・
埼玉県知事、清水勇人さいたま市長、
金井忠男埼玉県医師会長、国会議員、県
議会議員、名和肇埼玉県病院事業管理者、
加藤泰一さいたま赤十字病院院長

式次第：開会

式辞

新病院概要説明

来賓祝辞

鍬入れ、くす玉開披

閉会

○新病院の建物概要

建設場所：さいたま市中央区新都心 1-5
ほか

敷地面積：14,001.33㎡

建築面積：8,877.53㎡

延床面積：67,452.43㎡

階数：地下 2 階/地上 14 階

最高高さ：78.48 m

構造：鉄骨造(免震構造)、

一部鉄筋コンクリート造

駐車台数：311 台

病床数：632 床

患者さんの声にお答えします。

ご意見

「予約センター」に問い合わせた際、留守番メッセージの音が聞き取りにくいので、どうにかしてほしい。

お答えします

留守番メッセージの音をはっきり聞き取れるように吹き込み直しました。

ご意見

「リニアック室」へ行くように指示されたが、「放射線治療科」の表示のみで「リニアック室」の表示がなく場所がわかりにくい。

お答えします

各外来から発行される「予約表」や「掲示板」等の表示に「リニアック室」の表示を入れ、わかり易くいたしました。



ご意見

初診受付カウンターの下がとても汚れている。ここをきれいにするだけで、全然違うと思う。きれいにしたほうがよい。

お答えします

早速、担当課に連絡をし、初診受付カウンター下の汚れを除去いたしました。今後は、定期的に清掃いたします。



さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。